

実りの秋が楽しみだなー

平成26年7月31日発行

基山町

議会だより

No.50

平成26年 第2回定例会

6月議会

議案審議	2
補正予算	3
賛否表	4
一般質問	6
常任委員会報告（総務文教、厚生産業）	12
議会改革特別委員会・図書館等建設検討特別委員会	13
議会報告会	14
意見書、議長交際費、9月議会会期日程(案)	15
編集後記	16

国民健康保険の専決処分、承認できない！

賦課限度額が77万円から81万円

問 後期高齢者支援金及び介護保険納付金に係る賦課限度額の世帯数と最高限度額81万円に達する世帯数は。

答 後期高齢者支援金の対象者は17世帯（増加分34万円）、介護保険納付金は31世帯（増加分62万円）。最高限度額は13世帯が影響を受ける。

問 保険税の軽減対象者の拡大は。

答 5割軽減は「基準額33万円+45万円×被保険者数」、2割軽減は「基準額33万円+24・5万円×被保険者数」になる。

問 今後の国民健康保険の見通しは。

答 平成25年度は単年度収支で黒字だが、26年度は赤字が予想される。27年度からは基金で赤字補填をしても29年度は基金も枯渇する見通しだ。その前に保険税の改定を検討しなければいけない。

問 議会の審議権を奪っている。専決処分をした理由は。

答 国の法律が3月末に改定され、4月1日から施行するには時間的余裕がなかった。

税条例の一部改正で、軽自動車税が上がる

問 税率変更の根拠は。

答 国の地方税法改正に伴い、最低税率（年額）を2000円（原動付自転車）に引き上げ、軽2輪、農耕作業用や家用乗用車は1・5倍、その他は1・25倍に改正している。

問 平成29年改正まで含んでの税条例になっているが、広報等はどうするのか。

答 国の法律改正に伴っての一括した改正であり、町民への周知徹底を広報やホームページで行っていく。

法人町民税は引き下げ

問 法人税割税率を14・7%から12・1%に引き下げるが、上限を決めているだけで町独自で検証したのか。

答 国の法改正に伴ってであり、町独自の検証はしていない。税収が2500万円減収するが地方交付税で補填される。

専決処分とは、議会に諮らず町長自らが決めること。しかし緊急で議会を召集する時間的余裕がない場合や、災害等で物理的に議会を召集できないときに限定される。専決処分した場合は次の議会に報告し、承認を求めなければならぬ。不承認となった場合は、「速やかに必要と認める措置を講ずるとともに、その旨を議会に報告しなければならぬ」と地方自治法第179条第4項で規定している。

消防団員の退職報償金アップ

問 退職報償金を改定する理由は。

答 東日本大震災で多くの消防団員が被災した。国の法律が改正され、基山町も改定した。全額を国から支給される。

問 アップの幅は。

答 勤務年数5年から10年で20万円、それ以上は一律5万円上乘せになった。



▲町民の財産・生命を守る消防団

勤続3年から5年にも退職報償金を

問 現行は5年以上からだが、勤続3年から5年にも支給できないか。

答 検討したい。

問 入団年齢を20歳から18歳に引下げを検討されているのか。

答 検討している。12月議会で提案したい。

平成26年度 一般会計 補正予算 (第1号)

2億1,210万円を追加 予算総額57億2,017万円

たんぽぽ保育園増改築費決まる

保育所緊急整備事業補助金 1億8,576万円

佐賀県安心こども基金特別対策事業で、保育所緊急整備事業を活用した補助事業の実施のため平成25年9月議会で予算の議決を受け実施設計を進めたが、実施設計を行う中、東日本大震災の復旧工事に伴う資材の需要や、円安による資材の高騰で当初の基本設計を大幅に上回る設計金額となった。このような状況から「安心こども基金事業」諸般の現状を考慮し1年延長されることになり、平成26年度補助事業として取り組むことになった。総事業費は3億2,600万円。

主な補正内容

- | | | | |
|---|-------|--|-------|
| ・ 備品購入費
庁舎用自動車購入費 | 127万円 | ・ 中小企業等経営力改善事業委託料
緊急雇用関連で中小企業の経営力アップ支援 | 499万円 |
| ・ コミュニティ助成事業補助金
10区テント、イス、机の購入費 | 240万円 | ・ 道路維持修繕費
盗難にあった長野共同乾燥所前道路側溝の
グレーチング補修費用 | 336万円 |
| ・ 税務文書情報管理事業委託料
昭和63年度から平成19年度分の紙資料データ
20万件を民間会社に委託し、マイクロファイル
ム化するもの | 931万円 | ・ 退職団員退職報償金
退職消防団員12名分 | 250万円 |
| ・ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
城戸森林組合さかき加工事業所の建設費補助 | 390万円 | ・ 身近なユニバーサルデザイン推進事業
1区、3区、11区公民館、白坂組合集会所の
洋式トイレ化 | 200万円 |
| | | ・ 町民会館修繕料
高圧ケーブルの劣化に伴う張替費用 | 688万円 |

国民健康保険 特別会計 補正予算 (第1号)

189万円を追加 予算総額22億1,586万円

下水道 特別会計 補正予算 (第1号)

5万円を追加 予算総額3億5,202万円

平成25年度 一般会計 補正予算 (第6号)

508万円を減額 予算総額58億901万円



▲たんぽぽ保育園増改築前写真

更新する

国保条例の一部改正の専決処分を不承認

基山町国民健康保険条例の一部改正する専決処分に対し、反対多数で不承認とした。

討論において、一部住民の不利益になる条例を専決処分にするこの是非を問う結果となり不承認となったが、専決処分した条例が失効することはない。

国の法律改正に伴い、消防団員の退職報償金の支払額が引き上げられた。それに伴い基山町の条例改正が行われた。

また、消防ポンプ自動車、消防用自動車の取得についても、平成25年度から臨時的に実施される緊急防災・減災事業を活用し、9台分を一括して購入することになった。全国的に消防団員確保が厳しくなっている状況で、防災対策の強化を図るために検討すべき課題についても審議を行った。

なお、意見書4件について、2件は採択、2件は不採択となった。(詳しくはP15)

		賛 否 表									
1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	
神前 輔行	久保山 義明	牧園 綾子	木村 照夫	河野 保久	重松 一徳	後藤 信八	大山 勝代	品川 義則	林 博文	松石 信男	
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成は○、反対は×



▲基山町消防団入退団式

すべての消防自動車を

平成26年 第2回定例会（6月9日～6月17日）

区分	議案	内容	結果
第14号 議案	基山町税条例等の一部改正について	地方税法等の一部を改正する法律が平成26年3月31日に公布され、法人町民税の税率、軽自動車税の税額改正その他税負担軽減措置等の改正が行われたことに伴い、所要の規定の整備を行う。	原案可決
第15号 議案	基山町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が平成26年4月1日から施行され、消防団員の退職報償金の支払額が引き上げられたことに伴い改正する。	原案可決
第16号 議案	消防ポンプ自動車（CD-I型）の取得について	基山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき、公募型指名競争入札に付した消防ポンプ自動車（CD-I型）を取得するため議会の議決を求める。	原案可決
第17号 議案	消防用自動車（小型動力ポンプ付積載車）の取得について	基山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき、公募型指名競争入札に付した消防用自動車（小型動力ポンプ付積載車）を取得するため議会の議決を求める。	原案可決
第18号 議案	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	伊万里・有田消防組合を佐賀県市町総合事務組合に加入させ、事務の共同処理に参加させるため、組織規約の変更を行う。	原案可決
第19号 議案	平成26年度基山町一般会計補正予算（第1号）	従前の予算に2億1,210万円を追加して、総額を57億2,017万円にする。	原案可決
第20号 議案	平成26年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	従前の予算に189万円を追加して、総額を22億1,586万円にする。	原案可決
第21号 議案	平成26年度基山町下水道特別会計補正予算（第1号）	従前の予算に5万円を追加して、総額を3億5,202万円にする。	原案可決
第22号 議案	専決処分の承認を求めることについて（基山町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	後期高齢者支援金分及び介護納付金分に係る賦課限度額並びに軽減世帯の判定方法の改正が行われ、平成26年4月1日に施行されることになり、税財源確保のため条例を改正することが急務であったため専決処分にした。	原案不承認
第23号 議案	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度基山町一般会計補正予算（第6号））	地方譲与税、地方交付税等の交付額確定等に伴い一般会計の予算に補正が急務であったため専決処分にした。	原案承認

11人が町政を問う

一般質問

(傍聴者 延べ56人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

問

LPガス等供給協力に関する協定書とは
答 災害時に町民生活の早期安定を図る



木村 照夫 議員

問

協定の目的は何か。
答 災害時等において、LPガス及び資機材の調整並びにその供給に要する要員の確保である。被災者等にLPガス等を供給することにより町民生活の早期安定を図ること。

問

応急用資機材とはどのようなものか。
答 災害時供給可能資機材は、LPガス容器、炊き出し用ガス器具、ガス管、ガスホースである。

問

土砂災害時における緊急協定書の締結は。
答 公共施設等から障害物の除去、応急復旧、建設資材、土木建設機材の提供に関する協定を協会と締結している。

問

食料関係の協定書はあるのか。
答 食料品は弁当、パン、粉ミルク、飲料水などの提供に関する協定を締結している。



▲緊急炊き出し用のLPガス容器

問

庁舎の電力節減について
問 平成25年度の年間の電力使用量及び支払い金額はいくらか。
答 使用量は3万1000kWhで、支払い金額は730万円である。

問

節減対策は何を実施したのか。
答 照明の消灯やノー残業デーの徹底。またパソ

コンを一定時間以上使用しない場合は、シャットダウン等の対策。さらにクールビズやウォームビズによって空調機の設定温度調整を行っている。

問

平成26年度の目標と対策は。
答 数値的な目標はない。従来から行っている節電対策を徹底する。デマンド監視装置はない。

問

太陽光発電所の設置はどうするか。
答 20年前後の補修のない屋根や、町保有の適当な土地がない。また建設予定の図書館等は、太陽光発電システム採用について検討中である。

問

自主的にボランティア指導員が交差点で学童誘導中に、車と学童または車と指導員の事故が発生した場合の責任はどのようなのか。
答 一般的に車と人の接触事故の場合は車の方に過失責任があると聞いているが実際の事故に際しては、警察の状況検分によって責任度合いが定まるものと考ええる。

問 基山町は消滅可能性都市か

答 消滅はないが人口減に危機感



後藤 信八 議員

ており住宅地の供給施策を実施すれば人口急減はない。総合計画策定の中で町民に説明していく。

定住人口政策を提案

問 創成会議が公表した消滅可能性都市とは何か。
答 2040年までに20歳から39歳までの若年女性半減し、行政機能の維持が難しくなる自治体。

問 大都市近接で利便性のある基山町が県内で唯一、二つの予測機関とも消滅とした。悔しくないのか。
答 推計通りに消滅はないが人口減の可能性はあり、危機感をもって取り組む。

問 基山町は2010年までの人口減が大きいため、厳しい推測数値が出た。町としてしっかり検証して町民へ説明すべきではないか。
答 直近の人口は増加し

問 10年後は福岡都市圏ですら人口減となる。時間がないとの危機感で「定住促進室」を設置せよ。

答 来年度予定の組織機構見直しの中で検討する。

問 塚原・長谷川線は都市計画道路として、鳥栖までつなぐことで指定されている。検討はしているのか。
答 白坂久保田2号線などを優先して取り組んでおり、現在は実施する計画はない。

意見 アウトレットには年間550万人訪れる。半分は福岡県からである。延伸で、園部や宮浦インター利用が増えるはず。将来の発展のため、真剣に検討をすべきである。

問 子育て世代の移住促進を図る「空き家バンク制度」と定住助成策を実施せよ。
答 空き家も少なく、必要ないと考える。

問 PFI方式の定住住宅建設で安い賃貸住宅を。負担等、先の見通しをしっかりと見定める必要がある。

問 市街化区域内の残存農地の宅地化を町主導で目標をもって推進せよ。

答 町内事業者や不動産業者と意見交換を行っている民間主導だが、住宅地の道路問題など、行政も役割を果たしていく。

▼日本創成会議の人口推計

	2010年(人)	2040年(人)	10年比(%)	女性減少率(%)
基山町	17,837	12,317	69.1	62.1
鳥栖市	69,074	77,974	112.9	2.4
上峰町	9,224	8,316	90.2	27.9
佐賀県	849,788	652,816	76.8	39.4

問 介護保険制度改正内容は

答 介護の一部を地域支援事業へ



牧園 綾子 議員

問 現在の訪問介護と通所介護を市町村の地域支援事業に移行させる内容だが、サービスがどう変わるのか。
答 市町村が地域の実情に応じて取り組みを行う地域支援事業へ移行することとなっている。既存のサービスに加え、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な団体を活用し高齢者を支援していく。

問 現在の訪問介護と通所介護を市町村の地域支援事業に移行させる内容だが、サービスがどう変わるのか。
答 鳥栖地区市町村圏組合の中で、介護予防事業の一次予防事業で実施が確認されている。詳細は今後協議し決定する。

問 取り組んでいる事業の見直しで今後も継続、あるいはやめるものなど具体的にどうか。
答 現段階で取り止める事業の予定はなく、引き続き継続していく。

問 新規事業として始まる高齢者ボランティア。

ポイント制度で、基山町としての取り組みをどう進めていくのか。
答 鳥栖地区市町村圏組合の中で、介護予防事業の一次予防事業で実施が確認されている。詳細は今後協議し決定する。



▲基山町地域福祉計画概要版から

問 今後の小中連携の教育の進め方について

問 今年の卒業生で基山中以外に進学した基山小、若基小の児童の人数は。

答 基山小は、13人(卒業生113人)。若基小

は14人(卒業生62人)。

問 小学校が2011年度、中学校が2012年度から全面実施の現行の指導要領で大幅に総授業時間増となったが、生徒の学力に変化はあるか。
答 授業時間数は全国一律に増加しており、これによってと判断できる材料はないが総体的に向上している。

問 改定方針で小学校では英語の時間数増、中学校では授業中英語のみで行うとなっているが、どのような対応を検討しているか。
答 2020年からの実施の計画なので、現在のところ検討していない。

問 電子黒板を平成26年度新たに基山小4台、若基小3台、基山中3台と配置し、整備面の向上で授業の取り組みに力を入れる具体的なものは。

答 小学校で電子黒板を使った授業は、主に外国語・算数・国語で、中学校では理科や社会を中心に取り組みたい。

問 電子黒板を平成26年度新たに基山小4台、若基小3台、基山中3台と配置し、整備面の向上で授業の取り組みに力を入れる具体的なものは。
答 小学校で電子黒板を使った授業は、主に外国語・算数・国語で、中学校では理科や社会を中心に取り組みたい。

問 町老連、存続が難しくなるのでは
答 活動も含め、話し合いをしたい



重松 一徳 議員

問 町老連（基山町老人クラブ連合会）の設置区と会員数は。

答 1・5・7・9・11区で、会員数は431人。

問 減少している原因を把握されているか。

答 事業内容の固定化と新規会員の入会減少、役員の高齢化で担い手不足が考えられる。

問 基山町の加盟率は10%、みやき町や上峰町は50%ある。町の関わりはどうなっているか。

答 現在は関わりが少ないが、今後は深めていきたい。

問 老人クラブ会員は健康維持もあるが、地域活動もしたいと言われている。

答 予算や活動を決める時、町は話し合いをしているのか。

答 特段していない。

問 このままでは町老連は解散になるかもしれない。話し合いをして頂きたい。

答 老人福祉計画の策定もある。今後の活動も含めて話し合いをしたい。



▲老人クラブ「明るく楽しく元気よく！」

問 松田副町長「合併ではなく、連携強化を進めたい」

問 基山町のイメージは。

副町長 町外から見ている以上に可能性を感じる。成長のポテンシャルが大きいと再認識した。

問 基山町の将来展望をどのように思うか。

副町長 いろんな分野で成功モデルになれる可能性がある。例えば子育てや健康まちづくりなど。

問 広域連携や合併についてどのように思うか。

副町長 合併ではなく、連携強化を進めたい。

問 自ら窓口を閉ざすことなく、合併も含めて話し合いを進めてはどうか。

副町長 就任したばかりだが、合併の名がつく会議には参加しにくい。

問 基山町の一番の課題は何だと思われるか。

副町長 課題は整理されているが、解決に向けて第一歩が踏み出せないことだと思う。具体的には旧役場跡地の問題に取り組みたい。

問 ホームページを作り替える予定は
答 今は特に考えていない



神前 輔行 議員

問 ホームページについて

問 最近FB（フェイスブック）を始められているが、いつから始めたのか。また、何のために始めたのか。

答 5月30日から3か月間試験的に実施しているので議会の方には説明していなかった。

問 試験的に実施しているFBだが、大きな間違いとして、地図が基山町でなく、みやき町を表示している。この間違いに気付いているのか。

答 FBユーザーから地図の表示をした方がよいと提案を受けて、地図の表示を取り入れたが間違っていた。

問 同じようにチェック機能有疑问部分がある。

違った表示になっていて、現在、削除しようとしているが、削除できないでいる。

問 一つ一つのチェック機能がないといけない状態であるが、今回はどのようにチェックしていたのか。

答 現在の所、副町長一人で、細部までチェックしている。今後は町職員とも協力してやっていくと考えている。

問 町発信の情報を作成者のみのチェックにせず、もっと多くの目でチェックした方がよいと思うか。

答 現段階では、試験的なため、副町長がチェックをして、情報発信を続ける。

ホームページは背景を変更することが可能だが閲覧しにくい部分がある。ホームページの管理はどうなっているのか。

答 今後調査をしていく。

問 ホームページについて、フラッシュアップレイヤーが使えない、あるいはインストールできていなければ、トップ画面で基山町の動画が見れず良さが伝わらないのではないか。

答 一般的に使われているものだと認識している。

問 ホームページの年間更新回数が430回あるが、最新情報と注目情報の区別ができていない。ここは区別するべきではないか。

答 そこまで認識していなかったため、今後検討していきたい。



▲見にくいホームページ

問

子ども・子育て支援新制度

間に合うのか

答 来年度4月から実施

久保山義明 議員



問 子ども・子育て支援新制度ニーズ調査の分析は。

答 5年前の調査と比較して子育て環境はやや上昇が見られるが、医療や体験学習の充実、出費負担などの不安が増加傾向にある。

問 策定までの工程スケジュールは。

答 現在、子ども・子育て会議にて中身の検討をしている。9月までに素案、12月にパブリックコメントを予定し、9月議会に認定等の条例上程、3月議会に保育料等の改正を予定。

問 国の公定価格や支援メニューが定まらず、こ

連携の中で解決できる問題と認識している。教育行政の課題と今後の方向性は

の工程で行くと周知広報期間が少なすぎる。

答 確かに不確定要素の中で事業計画を策定しなければならぬ。9月の中間報告をもって早めに検討していく。

問 町立保育園の民営化をどう考えるか。

答 今のところ考えていないが、あり方を考える。

問 3人目以降の保育料は同時入所に関わらず無償とすべきではないか。

答 制度の改正の中で研究していく。いま、周辺自治体と比較検討しており、しっかりと検討していきたい。

問 現在の保育時間は規則で8時から16時までと原則なっている。これは最低規則なので改正を。

答 保育園と保護者との

問 学校教育現場における問題点をどのように認識し把握しているか。

答 教師は県費で賄われているが町職員としての意識を持って欲しい。家庭での学習意欲の取り組みの弱さ、地域の教育力が薄くなってきたと感じる。

問 今後取り組み改革についてどう考えるか。

答 職員体制の整備充実、学力向上、学習意欲の向上。郷土史学習の強化と実践、小中連携の推進。行かせたい、行きたい、行ってよかったと思える学校になるよう更に深化、発展させていきたい。



▲来年度から新制度

問

教室のエアコン追加設置を

答 中学校は再来年に検討

大山 勝代 議員



問 鳥栖市は当初予算でエアコンが全教室に4億4669万円を計上して、設置されるようになった。近隣市町はすべてついた。基山町は取り残されることになるが、設置の予定はあるか。

答 中学校3年生と特別支援学級以外は、今のところ設置は考えていない。基山中学校の大規模改修の時、検討が必要である。

問 具体的に何年度になるか。

答 必要であると判断すれば、今年事業計画を立て、来年度は実施計画、再来年度工事になる。

問 基山小、若基小はどうか。

答 中学校の後になる。

問 費用の試算はしているか。

答 3校で約6000万円。

問 保護者の教育費負担の軽減策を

問 江北町は小学1年生と中学1年生に給食費を無料。中学卒業時3万円の支給。出生祝い金もある。大町町は中学祝い金として3万円の支給など独自で支援策を実施している。基山町でも考えられないか。

答 提案があったということ、教育委員会とも話し合っている。

問 給食費が年間5万円ほどだが、せめて1万円でも支給できないか。児童生徒数1345人で、1300万円ほどの財政支出になるが。

答 今すぐということにはならない。教育委員会とも話し合っている。

改正地方教育行政法

問 今国会で審議されている改正案は、私は反対の立場である。その特徴は何か。

答 学校現場に問題が発生した時の責任の明確化を期すために、「新教育長」を置く。首長との連携強化を図る。地方への国の関与の見直しをする。政治的中立性、継続性、安定性は確保する。

問 教育関係者へのアンケートでは首長の権限強化に対して危惧の声が多い。教育の介入への歯止めが必要と思うがどうか。

答 首長が変わるたびに教育が根幹から変わることはないと考えられる。行政も民意によって動くのでチェックは十分にできる。



▲基山中3年生教室のエアコン

問 体験農園の増設を

答 条件に合う土地があれば検討する



林 博文 議員

で、貸借区画数は61区画、一区画の貸借料は年間4000円、貸借人数は55人で、一人で2区画借りている人が6人いる。

問 基山町は団塊の世代が到来し、高齢化が進む中、家に引きこもりがちである。国保の医療費抑制にもなる生きがいづくりのために余暇活動、健康づくりに野菜や花を育てる農作業の場、体験農園(畑)を増設してはどうか。

答 体験農園は、一定の面積が必要であり、駐車場の完備、作物等の用水や倉庫等が必要になる。市街地に近い場所であれば条件に合う土地があれば検討する。

問 現在、基山町が取り組んでいる体験農園の概要を示せ。

答 町からの補助金、年間33万3305円、事業農園の面積は2652㎡

問 体験農園での野菜作り等は初心者の方には難しい面もあるが、農作業の栽培指導及び相談などの対応はどのようになっているか。

答 農園での野菜作り等の栽培指導相談については当番制を設け、農年クラブの方が現地に出向き指導に当たって頂いている。また、農園管理については農協の方で全面的に提供している。

農業行政について

問 農業行政大転換が打ち出され、「農地中間管理機構」制度が発足した。それが今年から実施されるが、この新制度の事業概要は。

答 農業経営の規模拡大、農用地の集団化等による農地の利用の効率化、及び高度化の促進を図り、農業の生産性の向上に資するため、「農地中間管理機構」を設立して、農地中間管理事業を実施する制度である。

問 この制度の事業について当町では今後どのように進め、推進していくのか。

答 県の農業公社のホームページ及び、町、JAの広報誌により、農地集約の借り受け希望者の公募を年2回行い、町が貸付希望者と借受希望者の調整を行う。農業委員会の意見を聴取し、年2回、9月と2月頃に原案を作成し、実施の運びになると思う。



▲むらづくり事業の体験農園

問 通所・訪問介護が受けられるのか

答 今まで通りは受けられない



松石 信男 議員

介護サービスは低下

問 政府は介護保険制度の見直しを行い、要支援1・2を介護保険給付サービスから外し、基山町が行う「地域支援事業」に移す方針だ。どうなるのか。

答 要支援者の買い物代行などは(ホームヘルパーから)ボランティアや業者に委託していく。

問 今後、要支援1・2のサービスは基山町が行う「地域支援事業」として、NPO、民間企業、ボランティアなどを活用するといわれるが、今まで通り介護事業所による訪問・通所介護も行うということがあるか。

答 今後、要支援1・2のサービスは基山町が行う「地域支援事業」として、NPO、民間企業、ボランティアなどを活用するといわれるが、今まで通り介護事業所による訪問・通所介護も行うということがあるか。

答 専門性が必要な方に限って(訪問・通所介護は)受けられるが、今受けている方すべてが事業所で(訪問・通所介護)受けられるということは無くなる。

問 要介護1・2は特別養護老人ホームに入れない

問 基山町の特別養護老人ホームの入所待機者は328人。その内要介護者1と2の126人は今後入所できなくなるのではないか。

答 原則的にはそうだが、要介護1・2であっても基山町が必要と見れば入所も可能である。

問 待機者解消に特別養護老人ホームの定員を増やすべきだ。

答 これだけの待機者がある中で、増員するように対応する。

利用料1割が2割に

問 年金で単身280万円以上、夫婦で359万円以上は利用者負担が1割から2割になる。65歳以上の基山町民の約20%が上がるようになるのか。

答 概ねそうだが、負担限度額があるので必ずしも利用料が2倍になる方ばかりではない。

就学援助基準1・3倍に引き上げ

問 この4月から消費税増税で経済的に苦しい世帯の家計を圧迫している。就学援助費の引き上げや就学援助基準の引き上げの検討は。

答 今年度より1・3倍に引き上げた。就学援助費の引き上げも行う予定。

▼就学援助費の内容(平成26年度)

区分	対象学年	年間支給額
学用品費 通学用品費	小1	11,420円
	小2~6	13,650円
	中1	22,320円
	中2~3	24,550円
入学準備金	小1	20,470円
	中1	23,550円

問 第5次総合計画策定の工程は

答 27年6月に議案として議会提出



河野 保久 議員

問 計画策定の工程を示せ。

答 基本構想案については、基礎調査・アンケート・ワークショップを行い原案を作成し、町民への説明会・意見交換会を開催。現在、総合計画審議会にて審議中。

計画案については、各区にてアンケートを実施し地区の意向調査をしている。今後は各種団体へのヒアリング、またプロジェクトチームで10月末を目途に原案を策定し、審議会に諮問する。

最終的には審議会の基本構想案・計画案の答申をもらい、平成27年6月には、議案として議会に提出したいと考えている。

観光行政はどのように

問 観光協会に町として期待していることは。

答 いかにも基山町を売り込み、人を呼び込むかを企画し、実施してもらうことである。

問 観光とは何か。

答 一言でいえば「おもてなしの心」だ。



▲契山にある壊れないハート

副町長に問う

問 2か月経過した。所感。

答 地域の活動のみで、感動している。その方々の応援団に考えている

問 けやき台では「ふるさとづくり」が重要なテーマと考えているが。

答 「ふるさとづくり」は今後にむけて重要な課題であると感じている。

問 都市計画の線引き見直しは

答 長野地区の工業地域編入を協議中



品川 義則 議員

問 住宅地開発に伴う道路敷地について、町道帰属を計画段階で出来ないか。

答 今後検討していく。子育て支援策で人口が増えたのか。検証はしたのか。

問 子育て支援策は、人口増対策で効果があったのか。

答 検証はしていないが、移動時期に問い合わせがあり、転入を表明された方もいた。中学生までは若干の伸びがある。

問 効果があるのであれば更に拡充しないのか。

問 放課後児童クラブは、異世代間交流等を目的とする福祉交流館利用目的に反しているのでは、基山小学校で行うべきではないか。

答 福祉目的であるので

反してはいない。

問 移動時の安全や運動場で遊べることを考えるだけでも、学校施設で行うべきだ。関係課で協議をしてはどうか。

答 検討していく。

持続可能な財政を

問 ふるさと応援寄附金制度の見直しはしないのか。

答 変更した点や新たに実施したことはない。

要望 玄海町は努力して1億円の寄付があった。財政が厳しいならば、あらゆる施策を打ち出すべきだ。

『古代山城サミット』で町に活力を

問 「基肄城築造1350年」事業で基山町を売り出す絶好の機会と捉えて、そのために今まで貯めていたふるさと応援寄附金を使ってイベントを行う専門の準備室を設置すべきでは。

答 広域で取り組んでいるので検討する。



▲現在、行き止まりの塚原・長谷川線

消防自動車全車8300万円で更新

総務文教常任委員会

町は、東日本大震災を教訓とした緊急防災・減災事業の補助金を活用し、新規に消防自動車を配備する。現在ある9台ともが配備から20年以上経過することから、消防ポンプ自動車2台と小型ポンプ積載車7台を購入する。

また、災害発生時の消防団の機能強化が目的で、情報収集、発信機能を強化、「携帯用無線機」や「トランシーバー」等の装備の充実、消防ポンプ自動車2台には、大規模災害に対応する「チェーンソー」や「油圧ジャッキ」等の救助活動用資機材を充実する。

消防団員の待遇改善では、退職金に一律5万円を増額する。
委員会としては、退職金支給年数を新たに3年以上5年未満の退団者にも町単独支給ができるように要望した。

山城サミットまでには間に合わせる

基肄城水門保存修理事業の平成21年度から27年度までの年次計画について説明を受けた。事業計画の検討、南側、西側の石垣発掘調査、工事を行い、25年度からは、水門部の発掘調査、遺構に即した設計変更などを行った。27年度には環境整備を行う予定である。概算事業総額7359万円。

		標準税率 (年額)			
		現行額	改正額		
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円		
	50cc超~90cc以下	1,200円	2,000円		
	90cc超~125cc以下	1,600円	2,400円		
	ミニカー	2,500円	3,700円		
軽自動車及び小型特殊自動車	軽2輪 (125cc超~250cc以下) 等		2,400円	3,600円	
	三輪車		3,100円	3,900円	
	四輪車	乗用	営業	5,500円	6,900円
			自家	7,200円	10,800円
		貨物	営業	3,000円	3,800円
			自家	4,000円	5,000円
	農耕作業用		1,600円	2,400円	
	その他 (特殊作業用)		4,700円	5,900円	
二輪の小型自動車 (250cc超)		4,000円	6,000円		

築造1350年事業に間に合うかとの質問に対し、修景はサミットまでには間に合うとのことだった。

軽自動車税、来年4月から上がる

税条例の一部改正で、平成27年4月から軽自動車の新規登録について、最低税率(年額)を20000円に引き上げ、それぞれ現行の1.25倍から1.5倍に改定される。

委員会は多くの町民に関わることになるので、周知を徹底するように要望した。

九千部山横断線 新たな亀裂見つかる

厚生産業常任委員会

森林基幹林道「九千部山横断線」は基山町から鳥栖市、みやき町、上峰町、吉野ヶ里町を通る全長2万2381mの林道で、平成3年から工事を行い、平成26年度で全線開通する。総事業費88億4900万円(国費50%、県費50%)。

基山町内1137mは平成13年には完成していた。平成19年の大雨で崩落があり復旧工事を行い、管理移管が遅れていたが、平成26年3月31日に町へ移管が完了した。

基山町議会は移管に際して、鳥栖農林事務所長宛に「擁壁のズレが生じていることの危惧」「災害が発生した場合の支援」について要望書を提出していた。

新たな亀裂を確認

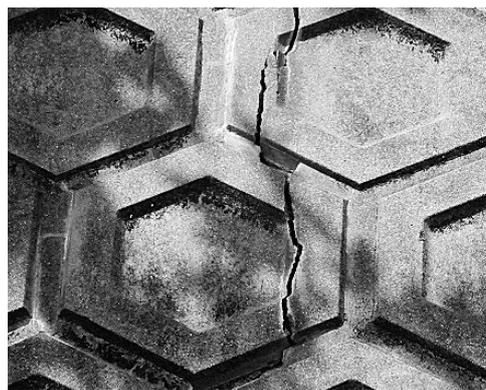
4月になり、鳥栖農林事務所から新たな亀裂が確認されたと連絡があり、当委員会で現地確認・現場説明を受けた。

鳥栖農林事務所から、新たな亀裂の原因は「花崗岩の土砂が道路の傾斜などの影響でズレが生じている可能性がある」「県の方で修復工事を行う」と説明を受けた。

当委員会としては、集中豪雨等による崩落の危険性に十分配慮し、場合によっては通行止めを行い、安全な道路行政を行うように要望した。



▲鳥栖農林事務所から説明を受ける



▲新たに見つかった亀裂

議会傍聴規則 大幅に改正

議会改革特別委員会

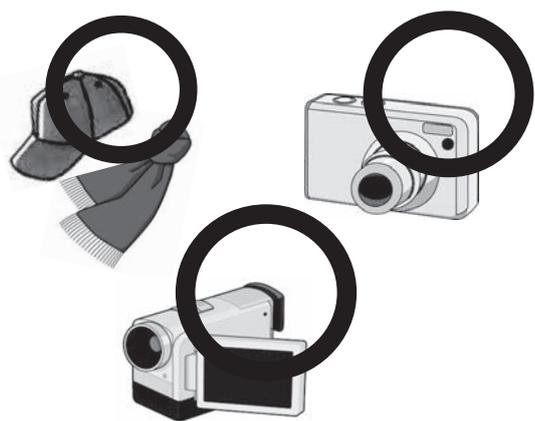
議会を傍聴される町民の皆さまの立場に立ち、「誰もが気軽に傍聴できる環境」を主眼に置き、これまでの傍聴規則を時代に合ったものにするため、大幅に改正を行った。

◎写真・ビデオ等の撮影、また、録音も出来ません。

傍聴席に入る前、傍聴届にご記入をお願いします。

◎帽子やマフラーなどの着用も出来ません。

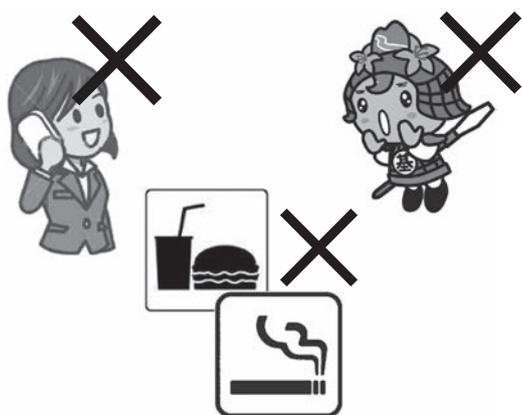
詳しくは、傍聴席入口に記載している傍聴規則をお読みください。



基山町議会改革特別委員会では、小委員会制度を設け、約半年にわたり審議し、昭和48年施行の文言、禁止条項を平成4年以来、22年ぶりに大幅な改正をした。

守っていただきたいこと

傍聴席では他の方の迷惑にならないよう、静かに聴いていただくこと。会議の妨げになると認められるときには、議長から注意いたします。



新図書館の概要固まる

図書館等建設検討特別委員会

中央公園の魅力を生かした図書館 桜並木の利用方法は

○桜並木に沿った歩行者空間を整備して桜並木通りにする。

駐車場・駐輪場の確保は

○駐車台数は合計45台、駐輪台数は14台。駐輪台数の増を検討する。

図書館内装は

○木材を天井にも利用して安らぎのある空間にする。

今後の図書館建設の工程は

○具体的な設計、建設見積金額の決定
○9月議会か臨時会に予算案の議案提示

○予算案の議決以降、建設会社を決める入札予定

○11月ぐらいから建設予定

○図書館本体の建設完了は平成27年10月予定

○駐車場の整備や外構工事、内装や備品購入

○新図書館オープンは平成28年4月予定



▲公園と図書館の融合（イメージ図）



▲安らぎのある空間・天井は木材（イメージ図）

きやまん議会と語ろう！ 第2回議会報告会のまとめ

5月30日、2会場に分かれて第2回の「議会報告会」を開催しました。参加者は前回よりも少なく43人でした。しかし、両方とも発言し易い雰囲気の中活発な意見が出され、今後の町政のあり方、議会活動について参考になり、充実した報告会・意見交換だったと感じました。

次回開催については、もっと多くの町民の方が参加できるように工夫したいと考えています。参加された方どうもお疲れ様でした。

議会から3月定例会の報告

総務文教関係

- ・ 青少年問題協議会設置条例の改正
- ・ 非常備消防費 消防自動車購入
- ・ 電子黒板 小中学校に10台設置
- ・ 第5次総合計画
- ・ 図書館建設

厚生産業関係

- ・ 放課後児童クラブひまわりC教室の設置
- ・ コミュニティバス運行
- ・ 白坂久保田2号線と本桜・城の上線の工事
- ・ 鳥栖基山都市計画の見直し
- ・ 下水道事業全体計画見直し
- ・ 国民健康保険の今後の見直し

参加者から出された質問・意見

基山小校区

- ・ 老人福祉政策の充実を
- ・ コミュニティバスは弥生が丘まで延長を
- ・ 放課後児童クラブ指導員の待遇改善を
- ・ 本桜・城の上線完成後の利用は
- ・ 図書館建設費の詳しい説明を
- ・ 議会として人口増対策の論議は
- ・ 一般質問で財政問題の質疑を
- ・ 合併についての情報提供を
- ・ 下水道と合併浄化槽設置に負担の差がないように
- ・ 福祉交流館の樹木伐採と街灯設置を



会場：福祉交流館

若基小校区

- ・ 基肄城築造1350年事業について
- ・ 白坂久保田2号線工事の説明が不十分で、住民とのずれがある
- ・ 白坂久保田2号線の議会のチェックは
- ・ 白坂信号から若基小への通学路の改善を
- ・ 農業を守る立場で農業問題の論議を
- ・ けやき台駅周辺のバリアフリー化の促進を
- ・ 国民健康保険の値上げは慎重に
- ・ 来年の町議選挙の定数は



会場：町民会館

※町への要望は執行部にしっかり伝えてます。

※詳しい参加者の意見と議会側の回答及びアンケートはホームページに掲載しています。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	提出者	結果
意見書	義務教育費国庫負担制度拡充・少人数学級実現を求める意見書	教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分の1に還元すること、国の政策として、少人数学級を推進することを求める。	品川義則 議員 重松一徳 議員	採択 (全員賛成)
	集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書	一内閣の判断で憲法解釈を自由勝手に変更することは、立憲主義の否定に他ならない。国民に集団的自衛権行使容認を押し付けることは、許されるものではない。	松石信男 議員 大山勝代 議員	不採択 (賛成少数)
	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	十分な審議もないまま、国民の知る権利を侵害する危険のある法律採決に改めて抗議し、本法律を即時廃止することを求める。	松石信男 議員 大山勝代 議員	不採択 (賛成少数)
	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること、身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることを求める。	林 博文 議員 品川義則 議員	採択 (全員賛成)

議長交際費の公表 (平成26年4月～6月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
御 祝	5,000	4/18 大興善寺つつじ園開園式	
御 祝	4,294	5/23 モール商店街協同組合第34回通常総会	
合計件数	合計額(円)	累計件数	累計額(円)
2	9,294	2	9,294

平成26年 9月基山町議会定例会会期日程(案)

月	日	曜	議事内容	備 考
9	8	月	本会議	会期決定・提案理由説明等・決算特別委員会設置
	9	火	本会議	一般質問
	10	水	本会議	一般質問
	11	木	本会議	一般質問・議案審議・委員会付託
	12	金	委員会	常任委員会
	13	土	休会	
	14	日	休会	
	15	月	休会	
	16	火	委員会	常任委員会(調整)
	17	水	本会議 委員会	委員長報告・討論採決 決算特別委員会
	18	木	委員会	決算特別委員会
	19	金	委員会	決算特別委員会
	20	土	休会	
	21	日	休会	
22	月	委員会 本会議	決算特別委員会(調整) 委員長報告・討論採決	

意見交換の時間をもっと長くして ～議会報告会参加者のアンケートから～

議会報告会の説明は改めて参考になりました。議会報告と一般的な質問の時間配分がほしい。
(50代女性)

初めて参加したのでどのようにしていいのかよくわからなかった。子ども、学生との意見交換会などしてほしい。私たちも、子どもたちがどのように思っているのか知りたいと思う。
(30代女性)

女性や若い人が参加しやすい会にできるといいですね。
(50代男性)

本日の討議は町道「白坂久保田2号線」の事案の質問が多く、この件は別途行うべきである。
(60代男性)

議員の熱意が感じられて良かった。今日の出席者が少ない。反省(原因)をお願いします。
(60代男性)

町の成長戦略、防衛戦略を具体的な事例で理解していきたい。議会および議員の皆さんは今後「女性の活用」をどのように考えておられるのですか？
(60代男性)

時間を有意義に使うこと。短い時間しか意見交換ができないではないか。日々の生活で困ったこと、要望があり出席していることを考えてもらいたい。
(80代男性)

町民と議員、町民と町当局の認識の差が気になりました。問題の掘り下げが少ないように思います。
(60代男性)

参加者：43人 アンケート回収数：35 性別：男 30人 女 5人

編集後記

笑顔と声が響き合う

子どもたちの笑い声と笑顔が響き合う場所のひとつに「公園」の存在がある。最近では大気汚染物質や熱中症などの影響もあり、残念ながら外で遊ぶことが懸念材料にさえなっている。しかし、子どもたちの笑い声が戻ってきた場所が「中央公園」。バリアフリー改修工事により遊具とトイレが使いやすく、キレイになった。その影響がこんなにも如実に表れるものかと驚いた。

いよいよこの中央公園北側に今年度から町立図書館の建設工事がスタートする予定。再来年のこの時期に、パークライブラリーとして更に情報、交流、笑顔が交錯しあう場所になるためにもしっかりと聴く、見る、考える議会としての役割を改めて考えていきたい。
(久保山)



広報編集委員会

委員長	大山 勝代	委員長	久保山 義明
副委員長	牧園 綾子	委員	木村 照夫
委員	重松 一徳	委員	神前 輔行